

平素より大変お世話になっております。

粒子線医療センターだより第 13 号をお届けいたします。

日本において粒子線治療が先進医療として開始されてから、約 20 年が経過しました。現在、日本の粒子線治療における一番大きな問題は、保険診療として粒子線治療を行える疾患が非常に少ない事です。

一方、世界では粒子線治療施設が加速度的に増加しています。



院長 沖本 智昭

その理由は悪性腫瘍に対する粒子線治療の安全性と有効性が次々と証明されている事と、粒子線治療施設のコンパクト化および低コスト化が進んだ事によります。このままでは粒子線治療をリードしてきた日本なのに、粒子線治療の恩恵を受ける患者さんが世界より少ないという事態になりかねません。

このような事態を回避すべく日本の全粒子線治療施設は、先進医療で行われている多くの悪性腫瘍に対して、粒子線治療を保険診療で行えるために全力で取り組んできました。その努力は着実に実を結び、2022 年 4 月から新たな悪性腫瘍 5 種に対する粒子線治療が保険診療として認められたので、その事について本号で説明します。

2022 年 4 月 1 日以降に粒子線治療が保険診療となる事が決定した疾患

1. 長径 4 cm 以上の肝細胞がん(陽子線治療と重粒子線治療)
2. 肝内胆管がん(陽子線治療と重粒子線治療)
3. 局所進行性膵がん(陽子線治療と重粒子線治療)
4. 手術後に局所再発した大腸がん(陽子線治療と重粒子線治療)
5. 局所進行性子宮頸部腺がん(重粒子線治療のみ)

※いずれも手術による根治的な治療法が困難なもの

よくある質問と回答

保険診療となった事について様々な質問を受けるので、よくある質問と回答を以下に記載しました。ぜひ参考にいただき、粒子線治療が役に立つ可能性
がある患者さんを確実に粒子線治療施設に紹介下さい。宜しくお願いします。

Q: 保険診療として粒子線治療を受けるための条件はありますか？

A:あります。

①明らかな遠隔転移がない事 ②手術による根治的な治療法が困難である事。
大前提はこの2つです。関連する診療科の医師と当院医師および医療スタッフによる
カンサーボードで上記2項目を満たしているか、満たしているとしても粒子線治療
よりベターな治療法が無いかについて議論し、最終的に保険診療として粒子線治療
を行うかどうかを決定します。

ちなみに、手術による根治的な治療法が困難である事の意味として、技術的に手術が不可能な場合はもちろん、技術的に手術可能であるが年齢、基礎疾患、合併症などにより手術のリスクが高い場合や、患者さんの個人的な理由で手術が困難な場合も該当します。

Q: 長径 4 cm以上の肝細胞がんはどのような方法で判断するのですか。

A:肝細胞癌の長径は、粒子線治療計画時に測定する事になります。

具体的には、まず複数の当院専門医により造影ダイナミックCT、造影MRI、CTHA
やCTAPなど全ての画像検査を参考に腫瘍と正常組織との境界を決めます。腫瘍境界
が決まればコンピューターで3次元的な腫瘍長径を計算させます。

他院の画像検査で腫瘍径が4cm未満と判断されていても、当院での正確な計測で
4cm以上になる事は十分ありえます。ちなみに、正確な計測で4cm未満の場合は、保
険診療では無理ですが先進医療であれば粒子線治療は可能です。

Q: 保険診療で粒子線治療を受ける場合の費用は？

A: 保険診療で粒子線治療を行った場合、高額療養費制度を利用できます。

高額療養費制度による個人支払額は、患者さんの健康保険の種類、年齢、所得、外来か入院か等によって異なるので、当院データから当てはまる患者さんが多い医療費負担 1 割または 2 割の人の例を示します。

粒子線治療とそれに付随する検査等のひと月総額が 300 万円と仮定し、高額療養費制度を利用した場合のひと月の上限額は、外来で粒子線治療を受けた場合が 18,000 円、入院で受けた場合は 57,600 円となります。患者さんの経済負担は明らかに軽減されます。

陽子線治療・重粒子線治療の診療区分について

- A. 陽子線治療及び重粒子線治療が保険診療で施行可能な疾患
限局性の骨軟部腫瘍（手術による根治的な治療法が困難なもの）
頭頸部悪性腫瘍（口腔、咽喉頭の扁平上皮がんを除く）
限局性及び局所進行性前立腺がん（転移を有するものを除く）
大型肝細胞がん（長径 4cm 以上かつ手術による根治的な治療法が困難なもの）
肝内胆管がん（手術による根治的な治療法が困難なもの）
局所進行膵がん（手術による根治的な治療法が困難なもの）
手術後に局所再発した大腸・直腸がん（手術による根治的な治療法が困難なもの）
- B. 陽子線治療のみが保険診療で施行可能な疾患
小児腫瘍（限局性の固形悪性腫瘍に限る）
- C. 炭素線治療のみが保険診療で施行可能な疾患
局所進行子宮頸部腺がん（手術による根治的な治療法が困難なもの）
- D. 陽子線治療が先進医療で施行可能な疾患
脳腫瘍、頭頸部悪性腫瘍（口腔、咽喉頭の扁平上皮がん）、肺・縦隔腫瘍、上記 A 以外の消化器腫瘍、泌尿器腫瘍、乳腺・婦人科腫瘍又は転移性腫瘍（いずれも根治的な治療法が可能なものに限る）
- E. 重粒子線治療が先進医療で施行可能な疾患
肺・縦隔腫瘍、上記 A 以外の消化器腫瘍、泌尿器腫瘍、乳腺・婦人科腫瘍又は転移性腫瘍（いずれも根治的な治療法が可能なものに限る）
- F. 陽子線治療及び重粒子線治療が自由診療で施行可能な疾患
上記の保険診療、先進医療で施行できない疾患だが、当院、兵庫県立がんセンター、兵庫県立リハビリテーション西播磨病院、神戸大学医学部附属病院、IHI 播磨病院の医師および医療スタッフによるカンサーボードで認められた疾患

ご紹介の手順

●初診

当センターのホームページ内の [主治医の先生へ](#) から疾患ごとの様式をダウンロードし FAX で送信ください。また COVID-19 感染対策の一環として、オンライン診療を行っています。感染が心配なかと、遠方にお住まいのかたに好評を得ております。ご紹介いただく場合にはご検討いただければ幸いです。

●セカンドオピニオン

医療機関・患者さんのいずれでも予約ができます。
ホームページから様式をダウンロードし、FAX送信していただくか、お電話でも予約が可能です。オンライン診療も行っています。

●メール相談

粒子線治療の適応についてのご相談を随時受け付けております。
詳しくはホームページをご参照ください。

粒子線 兵庫

🔍 検索



兵庫県立粒子線医療センター

〒 679-5165

兵庫県たつの市新宮町光都 1-2-1

TEL 0791-58-0100(代)

FAX 0791-58-2600

URL <http://www.hibmc.shingu.hyogo.jp/>

交通 JR 相生駅からバスで 35 分 山陽自動車道・中国自動車道から播磨道経由
アクセス 播磨新宮 IC より約 6 分

全国からのオンライン診療に対応しています

入院病床があります(50 床)陽子線・重粒子線治療が可能です